様式第１号（第７条関係）

熊谷市犯罪被害者等見舞金支給申請書

年　　　月　　　日

熊谷市長　小　林　哲　也　宛

　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

申請者　　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　犯罪被害者との続柄

熊谷市犯罪被害者等見舞金の支給に関する規則第７条の規定に基づき、次のとおり熊谷市犯罪被害者等見舞金の支給を申請します。

１　犯罪被害に関する事項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 犯罪被害者 | 犯罪行為が行われた日時 |  |
| 犯罪行為が行われた場所 |  |
| （ふりがな）  氏　　　　　名 |  |
| 生年月日 |  |
| 犯罪行為が行われたときの住所 |  |
| 被害の発生状況 | |  |
| 被害の程度 | | □　死亡　（死亡日：　　　　年　　　月　　　日）  □　全治１か月以上の負傷疾病　※別紙診断書のとおり |
| 取扱警察署（被害届の受理番号） | | 都道府県　　　　警察署  （　　　　年　　月　　日　　　　第　　　号） |
| 犯罪被害者又は第１順位遺族と加害者との親族関係の有無及びその続柄 | | □有（加害者の続柄　　　　）□無 |
| （遺族見舞金の申請の場合）死亡前の重傷病見舞金の支給の有無 | | □有　　　　　　　　　　　□無 |
| 他の地方公共団体から見舞金と同種の支給の有無 | | □有　　　　　　　　　　　□無 |
| 備考 | | |

２　申請する見舞金（該当する見舞金に✓）

□　遺族見舞金　□　重傷病見舞金

３　その他

⑴　私は、「熊谷市犯罪被害者等支援条例施行規則」第５条の規定により熊谷市長が見舞金の支給を行わないことができる場合に該当しません。また、この内容に確認の必要が生じた場合は、警察等へ照会することに同意いたします。

熊谷市犯罪被害者等支援条例施行規則

（見舞金の支給の制限）

第５条　市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、見舞金を支給しないものとする。

⑴　犯罪行為が行われたときにおいて、犯罪被害者又は第１順位遺族と加害者との間に、次のいずれかに該当する親族関係があったとき（当該親族関係が破綻していたと認められる事情があるときを除く。）。

ア　配偶者等

イ　直系血族（親子については、縁組の届出をしていないが、事実上養子縁組関係と同様の事情にあった場合を含む。）

ウ　三親等内の親族（ア又はイに規定する者を除く。）

⑵　犯罪被害について、犯罪被害者又は第１順位遺族に次のアからウまでのいずれかに該当する行為があったとき。

ア　当該犯罪行為を教唆し、又はほう助する行為

イ　過度の暴行、脅迫、重大な侮辱等当該犯罪行為を誘発する行為

ウ　当該犯罪行為に関連する著しく不正な行為

⑶　犯罪被害者又は第１順位遺族に次のアからウまでのいずれかに該当する事由があったとき。

ア　当該犯罪行為を容認していたとき。

イ　集団的又は常習的に暴力的な不法行為を行うおそれがある組織に属していたとき。

ウ　当該犯罪行為に対する報復として、加害者又はその親族その他の加害者と密接な関係にある者の生命を害し、又は身体に重大な害を加えたとき。

⑷　 前３号に掲げるもののほか、見舞金を支給することが社会通念上適切でないと認められるとき。

⑵　私は、申請内容に偽りがないことを認め、見舞金の支給後に偽りその他不正の手段による支給であったと市長が認めた場合には、当該見舞金を市に返還することに同意いたします。

⑶ 　（遺族見舞金の申請の場合）私は、第１順位遺族（遺族間での協議によって決定された代表者を含む。）に相違ありません。なお、遺族間で問題が生じた場合には、遺族間で全て解決することを約束いたします。

（申請者署名）